

## ○意見結果

### 1) 全体のまとめ

## ■ ①会場構成

---

### ○人通りの多い場所や有名な観光地を会場にする

- ・市民が普段行くような、有名な観光地（赤レンガの前庭など）や文化施設、チカホや大通などで作品展示を行うのはどうか。外国人観光客など多くの人の目に触れるのではないか。
- ・SIAF2017では手稲区に会場がなかったが、前田森林公園を使うべきである。
- ・アーティストはこだわりが強い方が多いため、有名な場所での展示はやりたがらないかもしれない。有名な観光地であえて格闘する人がいても良いと思う。
- ・アーティストはやりたがらないかもしれないが、音楽と芸術がテーマであるならば、もっとホールを使用したほうが良かった。

### ○札幌の生活が垣間見える場所を展示会場にする

- ・普段行かないようなドロドロとした会場があっても良い。
- ・札幌らしさや、札幌の生活が見えるような会場があっても良い。

### ○アーティストの意図や作品情報の提供

- ・作家の意図や作品の解説は、キャプションやガイドブックなど会場で分かるが良い。
- ・アプリと連携した音声ガイドがベースにあると良い。
- ・会場にガイドがいて作品を説明してくれるスタイルが良い。
- ・ボランティアがコンシェルジュをやるのは難しいので、きちんと学ぶ機会が必要。
- ・作品の理解は難しくても、アクセスなど全体を把握している人は必要である。
- ・解説文だけではなく、説明してくれる人材を育成すべき。
- ・格安の解説付きツアーがあると良い。
- ・作品の見どころが現地で分かるが良い。キャプションでの解説や現地で配布するガイドブックなどが必要である。
- ・会場の作品解説はQRコードを活用してはどうか。
- ・言語を超えているものがアート。分かりやすく表現することも必要だが、そうしたいかは作家によるところが多い。

### ○アーティストと来場者の交流の機会

- ・作家やそのファンと話し合えるなど、アーティストと来場者との交流ができると良い。

### ○交通手段を活用した会場を巡る工夫

- ・遠い会場までの道中のお楽しみスポットも一緒に紹介すると移動も楽しめる。
- ・バスやタクシーと連携した会場巡りパッケージなどがあれば、お酒を飲みながら回ることができて、市民にとっても良い（地元の人はお客さんのアテンドで運転手となりお酒が飲めないことが多い）。
- ・市外や、市内遠方から会場へ行くには車での移動となるため、駐車場が必要である。市内に期間限定の駐車場をつくる。また、駐車場と会場をつなぐシャトルバスもあると良い。
- ・会場へ行くバスが少ないため、本数も多い市内（会場）周回バスがあると良い。
- ・観光バスとタイアップし、バスガイドさんが作品について解説するツアーにしてはどうか。
- ・初心者向け、よりディープを求める人向けなど、ターゲットに合わせた内容のツアーを複数つくる。

- ・お年寄りには口頭で説明するツアーを組むと良い。
- ・駐車場運営会社と連携し、駐車場利用で入場料の割引（またはその逆）などがあると良い。
- ・自転車の貸し出しや、乗り捨てができると良い。

#### ○会場案内図の必要性

- ・小さい文字や QR コードなどは高齢者には不親切である。1枚で分かる全体案内図があると良い。
- ・期間中に会場の全体マップを街の中に設置する。現在地と会場の位置が分かると良い。
- ・マップ上にはガイドブックなど共通の会場番号を振り、会場の位置がひと目で分かるようにする。

#### ○コンセプトの軽薄化

- ・今回は分かりやすさをテーマにしている作品が多かったため、その分コンセプトが薄くなっていた。

## ■ ②来場者促進の取組み

---

#### ○作品や情報が集結したメイン会場

- ・作品や情報が集結する大きい空間があると良い。大きいメインの会場をつくることで、会場全体のメリハリがついて良い。
- ・サッポロファクトリーや JR タワー、札幌駅東コンコースなど、人が集まっているところをメイン会場にすることで、人目に触れ、参加する人が増えるのではないかな。
- ・駅は様々な人が来る場所であるため、市外、道内の人の目にも触れるよう、メイン会場として良いかもしれない。興味のない方に興味を持ってもらうような構成の仕方が必要である。
- ・期間中だけでなく、普段からアートに触れることのできる空間をつくりたい。

#### ○ガイドブックの工夫

- ・ガイドブックを漫画化し、配布してみてもどうか。

#### ○ビジュアルの必要性

- ・メイン会場の芸術の森美術館やモエレ沼公園だけでも、ビジュアルがあったほうが良かった。カラーだけのポスターではイメージできなかった。

#### ○メディアの活用

- ・効果的な広報は、新聞や TV に出ることである。SNS だと過多情報となるため見落とす可能性があるし、お年寄りは SNS 自体を見ない。ニュースになるような働きかけをする必要がある。

#### ○飲食店割引付パスポート

- ・料理も文化であるため、パスポートに飲食店の割引券を付けてみてどうか。割引券を使用した店をスタンプで消していくようにすると、各店を巡るきっかけにもなる。
- ・間口を広げるという意味でも、ガイドブックに飲食店割引を付けると良いのではないかな。

#### ○他芸術祭との連携

- ・芸術祭が好きな方は全国の芸術祭を巡る方が多い。他都市で同時期に開催している芸術祭とコラボしてどうか。
- ・同じアーティストの作品を各芸術祭に設置したり、同じテーマの作品を連動させたりしても面白い。

#### ○大学との連携

- ・市内、道内にある芸術系の学校と連携し、学生が表現する場を設けてはどうか。
- ・学生が表現できる場の創出と共に、学生の関係者が来場することで来場者促進にもつながる。

### ○市内の他イベントとの連携

- ・シティジャズ、PMF と連携してみてもどうか。来場者の獲得や実施費用の抑制が見込まれる。
- ・音楽ホールの前に作品を置き、クラシックを聴きにきた方にも作品を見て頂けると良い。

### ○学校を会場にした作品展示

- ・作家による短時間のワークショップや出前授業を小学校などで開催する。
- ・学校をワークショップや作品展示の会場にし、地域の人が来られるよう開放する。

### ○子どもが活躍する場の創出

- ・小中学校との連携で、子育て世代の来場者を増やせるのではないかな。
- ・未来を担う子どもがもっと芸術に触れる機会を作ると良い。作家との触れ合いの場や、子どもが活躍する場をつくる。
- ・ボランティアや小学生の作品展示などを行い、関係者などの来場者を増やす。
- ・子ども向けの芸術鑑賞教育があると良い（キット等を使用）。
- ・子どもが EYE さんの作品を見て踊りだした。大人には無い反応で、そのような素直な子供の芸術に対する反応を大切にしたいと思った。

### ○子どもがアートに触れるきっかけづくり

- ・学校と連携した取り組みを事前に行い、親の関心を持たせたり新聞記事に掲載され広報できたりするのではないかな。
- ・芸術祭の意義に、小さい頃から触れることが理解に繋がる。
- ・お届けアートのように、小さい頃からアーティストに触れ合うことも大事である。
- ・小学生の参加を促すため、綴りのチケットを配布してはどうか。
- ・小学生を対象にした芸術祭の PR 活動として、直接学校へ出向いて説明する。

### ○開催時期の検討

- ・冬の芸術祭を目玉にする。
- ・夏は他の観光資源でも人が来るが、冬に芸術祭を開催することで、札幌の特徴が表れると思うし、冬季観光の振興にも寄与するのではないかな。
- ・ストーリーが作りやすく、関わっている人や市民などの当事者意識がアップするのではないかな。
- ・時期は夏が良いのではないかな。
- ・冬はアクセスが不便になるし、路面が凍って歩きづらい。
- ・学生が集まりやすい時期の6月の末から始めて、興味をひく。

### ○入場料の設定

- ・入場料無料の日をつくり、広報札幌で告知してはどうか。

### ○インセンティブの付加

- ・体験や持ち帰れる何かがあるなど、自分にはねかえるものがあると良い。

### ○ターゲットの絞り込み

- ・お年寄りや子どもなどに、ターゲットを絞っても良いのではないかな。

## ■ ③その他

---

### ○SIAF の位置づけやビジョン・テーマ・方向性の明確化

- ・ゲストディレクターの意向が強く出てしまう。
- ・市民が置き去りにされている感じがした。
- ・各回の課題・反省が次に活かされるべきである。
- ・回ごとにディレクターが変わると全てが変わってしまう。
- ・札幌市としての軸が必要である。市（あるいは主体となる側）が、回各通しての基本ベースのようなものは持って、ゲストディレクターをもコントロールすべきである。

### ○日常的にアートに触れられるまち

- ・目玉になる作品は良いと思う。芸術祭で展示した作品を芸術祭が終わった後も街中に残し、普段から市民がアートに触れられる機会となると良い。
- ・芸術祭が終了すると開催中の雰囲気なくなり寂しい。街中に芸術祭の名残が常にあってもよい。
- ・芸術祭の作品について、市民が「残したい」という作品は残しても良いのではないかな。

### ○分かりやすいスケジュール表の作成

- ・どこの会場で、何時から始まるかが分かりづらかったため、「日付や時間」と「会場」が分かりやすくまとめられたスケジュール表が必要である。
- ・日時や内容などの「未定」は無くし、前の月までにスケジュールを発行する。
- ・多くの人へ情報発信できるよう、新聞への折込みにしても良い。
- ・駅の電光掲示板で作品のスケジュールなどを広報する。

### ○市電ラッピングのコンペ

- ・市電のラッピングはコンペとしてデザインを募集するのが良いのではないかな。

### ○多言語で表記

- ・国際芸術祭であるので、様々な多言語で街の目立つ所に **Welcome!** を掲示すると良いのではないかな。

### ○フラッグなどの広告の統一

- ・期間中は、街中に色やデザインを統一した広告があると、より一体感が生まれるのではないかな。

### ○ターゲットの絞り込み

- ・様々な年齢層をターゲットにした芸術祭だが、イベントとして「高齢の男性向け」「20代女性向け」というように、ターゲットを絞ったイベントを実施すると良い。

### ○作家同士の連携

- ・作家共同でアンサンブル作品を作る。作家同士が連携し、対話の中で生まれるものを形にする。

### ○札幌らしさの表現

- ・北海道や札幌では木工関係の技術が高い。木工作品があることで北海道らしく感じるため、芸術祭でももっと展示があると良いなと感じた。
- ・冬に芸術祭を実施するのは良いと思う。アイスランドなどもそうだが、圧倒的な寒さの中で行うとその地域の特徴となる。

### ○札幌ならではの市民参加の取組

- ・大風呂敷は多くの市民が参加し、評価も高かったが、全国的に行われているものである。大風呂敷に変わるインパクトのあるもので札幌独自のものがあると良い。

## ○事務局と他部局・他機関との連携

- ・芸術祭は人手と資金が重要であり、事務局が他部局や他機関と連携して取り組むなど、市全体で取り組まなければならない。

## ○創造都市札幌の実現に向けた取り組み

- ・芸術祭を開催して札幌市に何か残してほしい。
- ・札幌市の産業構造は中小企業の占める割合が高いため、中小企業が関心を持てると良い。
- ・小規模事業者の事業をより良くするようなアイデアをアーティストが出す。
- ・大地の芸術祭では、パッケージなどアーティストがデザインした商品が販売していて良かった。
- ・小規模事業者の事業をより良くしていくアーティストのアイデアが実際に商品化・事業化され、札幌に残っていくと良い。

## ○ボランティアの募集の工夫

- ・多くのボランティアを必要とする芸術祭であるが、ボランティアを募集し、マネジメントすることが課題である。
- ・参加したいと思うボランティア内容でなければならない。中高生は話題性の高いものに関わりたいと思う。
- ・会場の誘導などのボランティアも必要であるが、制作に携わりたい人の方が多い状況である。
- ・「ボランティアの募集」となると、参加しづらいため、何か別の形で勧誘をし、知らず知らずのうちにボランティアだったという雰囲気をつくれると良い。

## ○ボランティアの育成、ボランティアのマネジメント

- ・ボランティアに参加する方のモチベーションづくりが必要である。
- ・ボランティアの意識を変えていくにも、若い視点が必要である。
- ・中高生のボランティアへの参加が、学芸員さんの裏方の仕事などを見る機会になると良い。
- ・東川の写真甲子園のような事例をつくることはできないだろうか。
- ・作品制作に関わるボランティアが多く、「みんなでつくりたい」という雰囲気は良い。
- ・作家の選考時点でボランティアのマネジメントの視点も含めてはどうか。
- ・作品制作に係るボランティアでは、作家によっては宿題（家での個別作業）が課されることもあり、負担が重くなると辞めてしまう人が出てくる。
- ・「出来る範囲で」がボランティアの仕事である。それを越えると辛くなってしまわないか。
- ・ボランティアにも適材適所があるため、能力に応じた作業分担が必要である。

## ○ボランティアのための報酬

- ・ボランティアと作家さんが交流できる機会をつくる。
- ・ボランティアは文化芸術に興味のある人が多いと思われるため、作家さんと話すことでやりがいを作ることができる。また、作家さんにとってもボランティアに感謝する場が必要である。
- ・ボランティアのメリットは、パスポート以外にもう少し報酬があっても良いのではないか。
- ・ボランティア活動の時間によってもらえるパスポートのレベルを増やしていったらどうか。

## 2) グループ毎の意見

### 1 グループ

#### ■ ①会場構成

3つのテーマを通して【様々な連携（学校、イベント、他芸術祭、アーティスト同士）】  
【札幌らしさ（ならでは）の追求】

##### ○アーティストの意図が見る人に伝わりやすくする工夫

- ・作家の意図は、作品の横に掲示するなど会場で分かりやすく掲示されていた方が良い。
- ・会場にガイドがいて作品を説明してくれるスタイルが良い。
- ・作家やそのファンと話し合えるなど、アーティストと来場者との交流ができればさらに良い。
- ・言語を超えているものがアート。分かりやすく表現することも必要だが、そうしたいかは作家によるところが多い。

##### ○有名な観光地を展示会場にする

- ・道外のアーティストとコラボをして、市民も普段行くような、有名な観光地（赤レンガの前庭など）で作品展示を行うのはどうか。
- ・有名な観光地は外国人観光客も多いため、さらに多くの人目に触れることになる。（赤レンガの前庭で行う農村フェスにもかなり多くの人がある）
- ・SIAF2017では手稲区に会場がなかったが、前田森林公園を使うべきである。
- ・アーティストはこだわりが強い方が多いため、有名な場所での展示はやりたがらないかもしれない。有名な観光地であえて格闘する人がいても良いと思う。

##### ○札幌の生活が垣間見える場所を展示会場にする

- ・普段行かないようなきれいなだけではない、ドロドロとした会場があっても良い。
- ・札幌らしさや、札幌の生活が見えるような会場があっても良い。

##### ○音楽ホールを展示会場としてもっと活用

- ・アーティストはやりたがらないかもしれないが、音楽と芸術がテーマであるならば、もっとホールを使用したほうが良かった。

##### ○その他

- ・今回はわかりやすさをテーマにしているものが多かったため、その分コンセプトが薄くなっていた。

## ■ ②来場者促進の取組み

---

### 【様々な連携（学校、イベント、他芸術祭アーティスト等）】

#### ○QRコードで解説

- ・会場での解説文設置は場所や機材も必要なため、少しのスペースで掲示可能な QR コードを付けて、作家さんの解説を聞けるようにすると良いのではないだろうか。

#### ○ガイドブックの改善

- ・ガイドブックを漫画化してみてもどうか。
- ・北海道の作家にガイドブックの漫画を書いてもらい、広く普及するために各戸配布してみてもどうか。

#### ○パスに飲食割引を付ける

- ・料理も文化であるため、パスポートに飲食店の割引券が付けてみるのはどうか。割引券を使用した店をスタンプで消していくようにすると、各店を巡るきっかけにもなる。
- ・間口を広げるという意味でも、ガイドブックに飲食店割引を付けると良いのではないか。

#### ○他芸術祭と連携

- ・芸術祭が好きな方は全国の芸術祭を巡る方が多い。他都市で同時期に開催している芸術祭とコラボを行うと良いのではないか。
- ・同じアーティストの作品を各芸術祭に設置したり、同じテーマの作品を連動させるなども面白い。

#### ○大学との連携により学生が表現する場の創出

- ・市内、道内にある芸術系の学校と連携し、学生が表現する場を設けてはどうか。
- ・卒業作品展などを見るとレベルが高い作品も多々ある。
- ・学生が表現できる場の創出と共に、学生の関係者が来場することで来場者促進にもつながる相乗効果が期待できる。
- ・大友さんがゲストディレクターであれば、大学のとの連携は実施可能だったかもしれない。

#### ○市内の他イベントとの連携

- ・ハードルは高いと思うが、シティジャズ、PMF と連携してみてもどうか。来場者の獲得や実施費用も抑えられる。
- ・音楽ホールの前に現代アートを置いておき、クラシックを聴きにきた音楽ファンにも作品を見て知っていただけるといような効果がある。

#### ○子どもが活躍する場の創出

- ・小中学校との連携で、子育て世代を味方に付けるとより来場者も増えるのではないか。
- ・色々な場所で子どもへの取り組みを行った方が良い。
- ・未来を担う子どもがもっと芸術に触れる機会を作ると良い。作家の触れ合いの場や、子どもが活躍する場をつくる。
- ・子ども向けの芸術鑑賞教育があると良い（キット等を使用）。
- ・芸術の森で小学校 5 年生を招待して、芸術鑑賞の仕方を教えている。
- ・子どもが EYE さんの作品を見て踊りだした。大人には無い反応で、そのような素直な子供の芸術に対する反応を大切にしたいと思った。

## ■ ③その他

---

### ○目玉になる作品をまち中に

- ・目玉になる作品は良いと思う。芸術祭で展示した作品が、芸術祭が終わった後も街中に残っていると、普段から市民がアートに触れられる機会となって良い。
- ・芸術祭はわっと盛り上がり終了したらその雰囲気は何もなくなるというのは寂しい。街中に芸術祭の名残があってもよい。

### ○市電ラッピングのコンペ

- ・市電のラッピングはコンペとしてデザインを募集するのが良いのではないかな。

### ○多言語で Welcome! 表記

- ・国際芸術祭であるので、様々な多言語で街の目立つ所に **Welcome!**を掲示すると良いのではないかな。そうすることで、細かな説明が各国語で無くても札幌を訪れた外国人は迎えられているような気持ちになるだろう。

### ○フラッグなどの広告の統一

- ・芸術祭の開催中は、街中に色やデザインを統一した広告があると、より一体感が生まれ盛り上がる雰囲気になって良い。

### ○ターゲットを絞ったイベント

- ・様々な年齢層をターゲットにした芸術祭だが、イベントとして「高齢の男性向け」「20代女性向け」というように、ターゲットを絞ったイベントを実施すると良い。

### ○作家の連携アンサンブル

- ・作家共同でアンサンブル作品を作る。作家同士が連携し、対話の中で生まれるものを形にする。

### ○木工×芸術で札幌らしさが生まれる

- ・北海道や札幌では木工関係の技術が高い。木工作品があることで北海道らしく感じるため、芸術祭でももっと展示があると良いなと感じた。

### ○冬に実施することで北海道札幌にしかない芸術祭を

- ・冬に芸術祭を実施するのは良いと思う。アイスランドなどもそうだが、圧倒的な寒さの中で行うとその地域の特徴となる。

### ○札幌にしかない市民参加の取組を

- ・大風呂敷は多くの市民が参加し、評価も高かったが、全国的に行われているものである。大風呂敷に変わるインパクトのあるもので札幌独自のものがあると良い。

### ○ボランティアのモチベーションづくり

- ・ボランティアを行いたいと思うボランティア内容でなければならない。
- ・ボランティアに参加する方のモチベーションづくりが必要。

### ○事務局は他部局・他機関と連携して芸術祭に取り組むべき

- ・芸術祭は人手と資金が重要であり、事務局が他部局や他機関と連携して取り組むなど、市全体で取り組まなければならない。



# 1 会場構成の課題点を解決するアイデア

## 【良かった点】

- 日常的な場所が会場となっていることが良い
- 普段行かないところに行けて良い
- 音楽と芸術の組み合わせが面白い
- 場になじむ展示はコンセプトに合っている
- 市内に芸術が広がるといい企画が良い

- 会場巡りが旅のように楽しい
- 作家が会場を選ぶことで作品が良くなっている
- 場所に行けて新たな発見
- 多様性が良い

会場巡り  
作家が会場を選ぶことで作品が良くなっている  
場所に行けて新たな発見  
多様性が良い

## 【解決アイデア】

- 会場の作品ごとに説明書きをつける
- 作家が一から展示場所を選ぶ
- 子ども連れにも配慮した会場づくり

- 会場巡りコース、ポイント情報の提供
- ポラントディアがコンシェルジュとなり作品や会場を推薦
- 旅の魅力を全面に出す
- アプリ開発
- 交通手段との連携

- 会場巡りや気軽な参加のきっかけづくりが必要

作品の意図は、会場に合わせた説明をして、作家の考えを伝える。  
作家の考えを伝える。  
作家の考えを伝える。

午後の部  
前回と本日は  
似ている。

アーティストは  
有名ではないけれど  
あんなにいい作品  
が多い。

海外アーティスト  
とコラボして  
有名アーティスト  
の作品を展示する  
といい。

若手作家の  
紹介は、  
生かす  
べき。

音楽と芸術の  
コラボは、  
いい。  
アーティストが  
会場を選ぶ  
といい。

来場者促進の取組み  
子ども連れに  
配慮した会場  
づくり。

ポラントディア  
自身が行った  
と鬼の面  
（面白い）

音楽と芸術の  
コラボは、  
いい。  
アーティストが  
会場を選ぶ  
といい。

# 2 新たなアイデアもあるよ！

1 グループ (1 会場構成の課題点を解決するアイデア) 模造紙

# 2 来場者促進の取組みアイデア 様々な機材(学校、イベント、他芸術祭、P-リスト等)

- 【良かった点】**
- 市民参加型のプロジェクトが良い
  - 市民割引が良い
  - ガイドブックが無料であること
  - 大友さんの事前顔出し(イベント・説明会)
  - のんちゃんの起用
  - スタンプラリー効果
- 【解決アイデア】**
- 芸術祭終了後も市民がアートに携わる仕組み
  - 入場券と交通機関の乗車券がセットになったパスポート
  - ツアー
  - ガイドブックは英語版と日本語版を分ける
  - 小中学校との連携
  - 芸術祭を冬に開催するべき
  - 大通公園を会場に
  - 耳からの情報・人目に触れやすい広告媒体・スマホメディアを活用した宣伝
  - 他分野の方々や飲食店との連携
  - ツアーの実施
  - 行かなかった人へのアンケート調査
- 【課題点】**
- 多言語対応が不十分
  - 会場アクセスが悪い
  - HPやガイドブックが分かりづらい
  - ガイドブックの文字や色味が見づらい
  - 教育機関との連携が不十分
  - 会場にベンチ等の休憩設備がない
  - ビジュアル不足・何が見られるのか事前にわからない
  - 市民との接点不足・関心を持つきっかけ不足
  - 作家がわからない・知らない・知らない
  - 運営側も情報共有が出来ていない
  - チカラの掲示がインパクト不足
  - 英語対応が出来ていない
- 【開催時期の検討】**
- ロコミによる来場促進
  - 市民に親しく芸術祭
  - 分かりやすい会場配置図の作成
  - 紙媒体での情報発信の継続・安定化

## QRコード解説

QRコードで  
ついで、開けたい  
すべし良いのでは？  
作家さんの解説か  
あつと良い。

## ガイドブックの改善

ガイドブックは  
スマホで見て  
どう？

北海道の作家に  
かいてもらう  
→各ユーザー  
してはどうか？

## リスニング飲食店も同じ

リスニングに  
飲食店に  
動員はあつては  
良い。

アーティストに  
飲食店を  
ついで、開けたい  
すべし良い。

## 他芸術祭連携

芸術祭を  
多い、接続と  
作品を通して  
他芸術祭の  
連携を  
行う。

## 学生が表現場

市内、道内の  
学生との連携  
学生が表現場  
場とあつた。

## 大学の連携

期間に合わせ  
実施して、あつた  
大学との連携  
場とあつた。

## 他イベントの連携

イベント、  
PRイベントと  
あつた、あつた  
あつた、あつた

## 子どもが楽しめる市場

子育て世代に  
あつた、あつた  
あつた、あつた

## 子どもが楽しめる市場

子育て世代に  
あつた、あつた  
あつた、あつた

### 1 会場構成の課題点を解決するアイデア 3 その他(こんなアイデアもあるよ！)

会場構成の課題点を解決するアイデア

# 3 その他 (こんなアイデアもあるよ!) 札幌(札幌海道)のさを出していく

## 【良かった点】

- SIAF通信が分かりやすい
- 大友さんの狙いが伝わりやすい
- ボランティアとして参加しやすい
- 若い世代が多く来場している
- 目玉となる作品の設置
- 地元のアートフェスティルの起用・コンへの実施
- 様々な年齢層に楽しんでもらえる作品の設置
- 会場の作品ごとに説明書きをつける
- 公募企画が良かった・市民に広がりがきつかけにもなった
- 歴史や市民に身近なテーマの展示企画が良かった
- 札幌の新たな発見や次に繋がる取組になった
- 500m美術館がアートに触れるきっかけになる
- 市民の詳細が良かった
- 開催期間が長すぎる
- 芸術と呼べるのか分からない作品がある
- 市電の普段のラッピングが残念
- ボランティアとスタッフの関係
- スタッフの作品等への理解不足
- キャプションがバラバラ
- ボランティア運営
- 英語対応
- SIAFの位置づけやビジョン・テーマ・方向性の明確化
- 現代アートへの興味不足
- ゲストアーティストの主旨が分かりにくい
- 人材育成の体制ができていない

## 【解決アイデア】

- 自主となる作品の設置
- 地元のアートフェスティルの起用・コンへの実施
- 様々な年齢層に楽しんでもらえる作品の設置
- 会場の作品ごとに説明書きをつける
- 創造都市札幌の実現に向けた取り組みとして市民への浸透を推進
- 次回開催までの市民に伝わる取組を
- 関係者・市民向けの勉強会開催
- ボランティアの育成
- 作品の常置化・まちなかでの展示

## 目玉作品を、お中元

目玉作品、お中元  
いいと評判、面白い、出展者の  
お中元作品か  
お中元中に観て  
いいと評判

## 中元作品を、お中元

中元作品を、お中元  
お中元作品、お中元  
お中元作品、お中元  
お中元作品、お中元

## 多言語で Welcome!

多言語で Welcome!  
多言語対応、  
日本語対応、  
多言語対応、  
多言語対応

## アーティストの専ら

アーティストの専ら  
アーティストの専ら  
アーティストの専ら  
アーティストの専ら

## 冬に実施

冬に実施  
冬に実施  
冬に実施  
冬に実施

## お中元作品を、お中元

お中元作品を、お中元  
お中元作品を、お中元  
お中元作品を、お中元  
お中元作品を、お中元

## ターゲットを、お中元

ターゲットを、お中元  
ターゲットを、お中元  
ターゲットを、お中元  
ターゲットを、お中元

## 作家の専ら

作家の専ら  
作家の専ら  
作家の専ら  
作家の専ら

## 札幌海道

札幌海道  
札幌海道  
札幌海道  
札幌海道

## 1 会場構成の課題点を解決するアイデア

## 2 来場者促進の取組みアイデア

### ■ ①会場構成

---

【アプリでの情報提供と行った先でのホスピタリティが交通で繋がる】

#### ○1枚で会場の全体像が伝わるわかりやすい案内図が必要

- ・字が小さいため、マップが分かりにくかった。QRコードは高齢の方には対応できない。1枚で分かりやすい全体案内図があると良い。

#### ○アプリを開発する

- ・アプリ開発すると良い。しかし、高齢者への配慮は必要。
- ・アプリと連携した音声ガイドがベースにあると良い。

#### ○ボランティアがコンシェルジュとなり会場巡りや作品情報を提供できると良い

- ・コンシェルジュは必要。作品の理解は難しくても、全体のこと（交通など）を理解している人は必要である。
- ・ボランティアがコンシェルジュをやるのは難しいので、きちんと学ぶ機会が必要。
- ・コンシェルジュとして、どこまで作家さんの思いが伝えられるかというところが難しかった。ただやること自体は楽しかった。
- ・解説文だけではなく、説明してくれる人が大事。そういった人材育成をするべき。
- ・格安の解説付きツアーがあると良い。

#### ○交通手段との連携を

- ・遠い会場までの道中のお楽しみスポットも一緒に紹介すると移動も楽しめる。
- ・バスやタクシーと連携した会場巡りパッケージなどがあれば、お酒を飲みながら回ることができて、市民にとっても良い（地元にいるとお客さんのアテンドをすることになりがちでいつも運転手となりお酒が飲めないことが多い）。
- ・市民も観光客気分を楽しめるようになる。

#### ○市民が来やすい会場設定を

- ・市民の関心が弱かった。
- ・市民ギャラリー、ワクワクホリデーホール、チカホを使うと良い。
- ・チカホ・大通など市民が来やすい会場設定が必要。

## ■ ②来場者促進の取組み

【芸術祭を冬に開催する。それが札幌らしさ!!】

### ○芸術祭を冬に開催する

- ・冬の芸術祭を目玉にする。
- ・夏は他の観光資源でも人が来るが、冬に芸術祭を開催することで、冬季観光の振興にも寄与し、観光業者（ホテル）などにも良い影響が出ると思う。
- ・他の町の芸術系も夏季開催なので、札幌が冬に開催すれば他の町と被らないので良いのでは。
- ・札幌の特徴が本当に出ると思う。
- ・冬季開催は沢山の課題があるが、いろいろな課題を克服していくプロセスそのものが宣伝になるのではないか。
- ・ストーリーが作りやすく、関わっている人や市民などの当事者意識がアップするのではないか。

### ○芸術祭へ「行かなくちゃ！」をつくる

- ・無料の日をつくってみる（広報札幌で告知）。
- ・家族みんなで無料だと、お得感がある。
- ・体験や持ち帰れる何かがあるなど、自分にはねかえるものがあると良い。
- ・大通やチカホなどで何回もイベントをうつ。
- ・お年寄りや子どもなどに、ターゲットを絞っても良いのではないか。
- ・お年寄りには口頭で説明するツアーを組むと良い。
- ・子どもは学校とタイアップする。

### ○ビジュアルが必要

- ・メイン会場の芸森やモエレ沼公園だけでも、ビジュアルがあったほうが良かった。カラーだけのポスターではイメージできなかった。

### ○関心を持つきっかけをつくる

- ・ほとんどの人が今は芸術祭に関心を持っていない。
- ・学校との一緒の取り組みをすると、親の関心アップや、新聞記事にもなる可能性がある。開催前にやるべきである。
- ・芸術祭の意義に、小さい頃から触れることが理解に繋がる。
- ・お届けアートのように、小さい頃からアーティストに触れ合うことも大事である。
- ・新聞やTVに出ることが、まずは手っ取り早いように思う。SNSだと過剰情報となるため見落とす可能性があるし、お年寄りはSNS自体を見ない。
- ・ニュースになるようなことをする。

## ■ ③その他

### 【産業振興（小規模事業者）につなげる SIAF】

#### ○創造都市札幌の実現に向けた取り組みとして市民への浸透を推進

- ・芸術祭を開催して札幌市に残るものは何か。何か残してほしい。
- ・2014年は、石（一石を投じる）、札幌の音（サウンド）が残った。
- ・札幌市の産業構造は中小企業の占める割合が高いため、中小企業が関心を持てると良いのではないかな。
- ・小規模事業者の事業をより良くするようなアイデアをアーティストが出す。
- ・大地の芸術祭では、商品のパッケージなどアーティストがデザインし、商品化して販売していて良かった。
- ・小規模事業者の事業をより良くしていくアーティストのアイデアが実際に商品化・事業化され、これらが札幌に残っていくと良い。

#### ○スタッフの作品等への理解不足・ボランティア運営の改善

- ・ボランティアスタッフの人材育成が本当に必要となっている。
- ・ボランティアの意識を変えていくにも、若い視点が必要である。
- ・中高生との関わりがあると良い。
- ・中高生のボランティアへの参加が、学芸員さんの裏方の仕事などを見る機会になると良い。
- ・東川の写真甲子園のような事例をつくることはできないだろうか。
- ・中高生は話題性の高いものに関わりたいと思う。

#### ○SIAFの位置づけやビジョン・テーマ・方向性の明確化

- ・ゲストディレクターの意向が強く出てしまう。
- ・市民が置き去りにされている感じがした。本来は、大友さんは逆のこと（市民側から上がってくるものを大事すること）を考えていたと思うが。
- ・各回の課題・反省が次に活かされない（大友さんが悪いわけではないが）。
- ・回ごとにディレクターが変わると全てが変わってしまう。
- ・何かしら札幌市としての基本線は必要である。市（あるいは主体となる側）が、各回を通しての基本ベースのようなものを持って、ゲストディレクターをコントロールすべきである。
- ・雪まつりレベルのお祭りになってほしい。



# 2 来場者促進の取組みアイデア

## 芸術祭を冬に開催 札幌らしい!!

### 【解決アイデア】

- 芸術祭終了後も市民がアートに携わる仕組み
- 入場券と交通機関の乗車券がセットになったバスサポート
- ツアー ○会場にベンチの設置
- ガイドブックは英語版と日本語版を分ける
- 小中学校との連携

### 【課題点】

- 多言語対応が不十分
- 会場アクセスがない等HPやガイドブックが分かりづらい
- ガイドブックの文字や色味が見づらい ○教育機関との連携が不十分
- 会場にベンチ等の休憩設備がない

- ビジュアル不足・何が展覧されるのか事前にわからない
- 市民との接点不足・関心を持ってつきっかけ不足
- 作業がわからない・知らない ○運営側も情報共有が出来ていない
- チラシの提示がインパクト不足
- 英語対応が出来ていない

- 関心を持ってつきかけがない
- 海外の方が少ない
- 分かりづらい情報発信
- 時間を感ずる情報発信

- 大通公園を会場に
- 目からの情報・人目に触れやすい広告媒体・マスメディアを活用し推進
- 地分野の方々や飲食店との連携 ○ツアーの実施
- 行かなかった人へのアンケート調査

- 開催時期の検討 ○ロコミによる来場促進
- 市民に届く芸術祭 ○分かりやすい会場配置図の作成
- 紙媒体での情報発信の継続・安定化

夏は人々の 札幌の 札幌の 札幌の 札幌の 札幌の 札幌の

**目玉にする!!**

ストーリー いろいろ いろいろ いろいろ いろいろ いろいろ いろいろ

行かないでね 札幌を冬に開催するべき 札幌を冬に開催するべき

無料の日を 作る必要 (広報も必要) 家族みんな 無料は 有償感謝

体験 札幌 札幌 札幌 札幌 札幌 札幌

アットモ 札幌モ 札幌モ 札幌モ 札幌モ 札幌モ

子供は 札幌は 札幌は 札幌は 札幌は 札幌は

芸術祭を冬に開催するべき 札幌を冬に開催するべき

ほとんどの人が 札幌を冬に開催するべき 札幌を冬に開催するべき

札幌を冬に開催するべき 札幌を冬に開催するべき

札幌を冬に開催するべき 札幌を冬に開催するべき

札幌を冬に開催するべき 札幌を冬に開催するべき

札幌を冬に開催するべき 札幌を冬に開催するべき

札幌を冬に開催するべき 札幌を冬に開催するべき

札幌を冬に開催するべき 札幌を冬に開催するべき

札幌を冬に開催するべき 札幌を冬に開催するべき

札幌を冬に開催するべき 札幌を冬に開催するべき

2 グループ (2 来場者促進の取組みアイデア) 模造紙



# 産業振興(小規模事業者)はっぴなさい SAIF

## 3 その他 (こんなアイデアもあるよ!)

### 【良かった点】

- SAIF連携が分かりやすい
- 大友さんの強い成果が出ている
- ボランティアとして参加しやすい
- 若い世代が多く来場している
- 公募企画が良かった・市民に広がるきっかけにもなった
- 歴史や市民に身近なテーマの展示企画が良かった
- 札幌の新たな発見や次に繋がる取組になった

### 【解決アイデア】

- 目玉となる作品の設置
- 地元のアーティストの起用・コンペの実施
- 様々な年齢層に楽しんでもらえる作品の設置
- 会場の作品ごとに説明書きをつける
- 創造都市札幌の実現に向けた取り組みとして市民への浸透を推進
- 次回開催までの市民に伝わる取組を
- 次回開催までに市民があるまるる場を
- 関係者・市民向けの勉強会開催

### 【課題点】

- 開催期間が長すぎる
- 芸術と呼べるのか分からない作品がある
- 市電の普段のラッピングが残念
- ボランティアとスタッフの関係
- スタッフの作品等への理解不足
- ボランティア運営
- SAIFの位置づけやエンジョイユーマ・方回展の明確化
- 現代アートへの興味不足
- キャプションがバラバラ
- 英語対応
- ゲストディレクターの主旨が分かりにくい
- 人材育成の体制ができていない

- 500m美術館がアートに触れるきっかけになる
- 市民の記憶が高かった

- ボランティアの育成
- 作品の常置化・まちなかでの展示

残子そのは  
何か?  
何かが  
のこして  
ほしい。

2014.  
石.  
さっしゆの音  
(サックス)

これが  
札幌者に  
のこして  
ほしい

札幌の発表  
構成は  
中小企業  
をニギハヤヒ  
様々とした

小規模事業者  
事業を広く  
見せたい  
アートのアートを

大地の芸術祭  
では・商品の  
パック・アート  
アートがアートを  
贈りあう

ボランティアの  
変じをがえて  
いくにも  
若いねえが  
必要

中高生の  
かがあり  
あざと良い

中高生は  
言語性の  
高いものに  
おいては思  
つた

ボランティア  
スタッフの  
人材育成  
本当に必要

学芸員 工の  
うらがたの件  
いば見ると  
いい (中野)

東川の 写真  
こうしえん.  
よむな草紙  
つくねが

書きこみレバ  
の おまじり  
たごの ほしい

## 1 会場構成の課題点を解決するアイデア

### 2 会場促進の取組みアイデア

2グループ (3 その他) 模造紙

## 3 グループ

### ■ ①会場構成

---

#### 【会場を巡る解説付きバスツアー】

##### ○会場を巡るバスツアー

- ・市外や、市内遠方から会場へ行くには車での移動となるため、駐車場が必要である。市内に期間限定の駐車場をつくると良い。また、駐車場と会場をつなぐシャトルバスもあると良い。
- ・会場へ行くバスが少ないため、本数も多い市内（会場）周回バスがあると良い。
- ・ツーリズムとしての付加価値が必要である。
- ・観光バスとタイアップし、会場を巡るツアーを行う。バスガイドさんが作品について解説するツアーにしてはどうか。
- ・初心者向け、よりディープを求める人向けなど、ターゲットに合わせた内容のコースを複数つくる。
- ・駐車場運営会社と連携し、駐車場利用で入場料の割引（またはその逆）などがあると良い。
- ・自転車の貸し出しや、乗り捨てができると良い。

##### ○作品に関する詳しい解説の必要性

- ・作品の見どころが現地で分かると良い。キャプションでの解説や現地で配布するガイドブックなどが必要である。
- ・より印象に残るように詳しい説明をしてほしい。

##### ○会場の位置を分かりやすく表現する

- ・ボランティアによる誘導には限界がある。
- ・期間中に会場の全体マップをまち中に設置する。現在地と会場の位置が分かると良い。
- ・マップ上にはガイドブックなど共通の会場番号を振り、会場の位置がひと目で分かるようにする。

### ■ ②来場者促進の取組み

---

#### 【全ての情報が集結した目立つメイン会場の設置】

##### ○作品や情報が集結したメイン会場

- ・今回は美術館があまり活かされていないように感じた。美術館を知ってもらうことも必要である。
- ・複数の会場がある中でも、ひとつ大きい空間をつくり、そこに作品や情報が集結していると良い。
- ・大きいメインの会場をつくることで、会場全体のメリハリがついて良い。
- ・色々な会場へ行かなくても良いという安心感を得るためにも、作品が集まっている空間が欲しい。
- ・サッポロファクトリーや JR タワー、札幌駅東コンコースなど、人が集まっているところをメイン会場にすることで、ひと目に触れ、参加する人が増えるのではないかな。
- ・駅は様々な人が来る場所であるため、市外、道内の人の目にも触れるよう、メイン会場として良いかもしれない。
- ・人が多く集う場所でアーティスティックなパフォーマンスができると良い。そうすることで、芸術祭

をやっていることを宣伝する。

- ・期間中だけでなく、普段からアートに触れることのできる空間をつくりたい。

#### ○子どもたちが文化芸術に触れるきっかけづくり

- ・小学生の参加を促すため、何枚かが綴りになったチケットを配布してはどうか。参加のきっかけをつくるべきである。
- ・小学生を対象にした芸術祭のPR活動として、直接学校へ出向いて説明する。

#### ○学校を会場にした作品展示

- ・芸術祭のプロジェクトの一つとして、作家による短時間のワークショップや出前授業を小学校などで開催する。
- ・学校をワークショップや作品展示の会場にし、地域の人が来られるよう開放する。

#### ○より多くの人の参加を促すきっかけづくり

- ・もう少し来場者を増やしたい。
- ・より多くの人に来てもらうべきである。
- ・興味のない方に興味を持ってもらうような構成の仕方が必要である。
- ・ボランティアで関わってもらった人や、小学生の作品展示などを行い、関係者などの来場者を増やす。

#### ○開催時期について

- ・冬はアクセスが不便になるし、路面が凍って歩きづらい。
- ・時期は夏が良いのではないか。
- ・学生が集まりやすい時期の6月の末から始めて、興味をひく。

## ■ ③その他

---

### 【分かりやすいスケジュール表の作成】

#### ○分かりやすいスケジュール表の作成

- ・期間中のインフォメーションセンターはたくさんあった。しかし、どこの会場で、何時から始まるかが分かりづらかった。
- ・横軸が「日付や時間」、縦軸が「会場」のスケジュール表を作成する。
- ・日時や内容などの「未定」は無くし、前の月までにスケジュールを発行する。
- ・多くの人へ情報発信できるよう、新聞への折込みにしても良い。
- ・駅の電光掲示板で作品のスケジュールなどを広報する。

#### ○市民が残したい作品

- ・芸術祭で作成した作品について、市民から挙がる「残したい」という声を聞いても良いのではないか。

#### ○ボランティアの募集、マネジメント

- ・芸術祭において、作品制作に関わる人やボランティアで関わる人などが多く、「一緒に楽しみたい」「みんなで作りたい」という雰囲気は良い。
- ・多くのボランティアを必要とする芸術祭であるが、ボランティアを募集し、マネジメントすることが課題である。
- ・作品制作に係るボランティアでは、作家によっては宿題（家での個別作業）が課されることもあり、

負担が重くなると辞めてしまう人が出てくる。

- ・会場の誘導などにおいてもボランティアは必要であるが、制作に携わりたい人の方が多い状況である。
- ・作家によって、ボランティアの手伝いを不要とする人や、こだわりが強くボランティアのマネジメントが上手いかわからない人もいるため、作品の公募時点で、ボランティアに手伝いを求めるかどうか、関わってもらえるかどうかの確認を行い、ボランティアのマネジメントも含めた作家の選考としてはどうか。
- ・「ボランティアの募集」となると、参加しづらいため、何か別の形で勧誘をし、知らず知らずのうちにボランティアだったという雰囲気をつくれると良い。
- ・「出来る範囲で」がボランティアの仕事である。それを越えると辛くなってしまわないか。
- ・ボランティアにも適材適所があるため、能力に応じた作業分担が必要である。

#### ○ボランティアのための報酬

- ・ボランティアと作家さんが交流できる機会をつくる。
- ・ボランティアとして関わる人は、文化芸術に興味のある人が多いと思われるため、作家さんと話すことでやりがいを作ることができる。また、作家さんにとってもボランティアに感謝する場が必要である。
- ・ボランティアのメリットは、パスポートがもらえることであるが、もう少し報酬があっても良いのではないか。
- ・ボランティア活動の時間によって、もらえるパスポートのレベルを増やしていったらどうか。

# 1 会場構成の課題点を解決するアイデア

## 【解決アイデア】

- 日常的な場所が会場となっていることが良い
- 普段行かないところに行くことが良い
- 音楽と芸術の組み合わせが面白い
- 場内にも展示が楽しめるという企画が良い

- 会場巡りが旅のように楽しい
- 作家が会場を通じて作品が良くなる
- 普段行かない、入らないところに行くことで新たな発見
- 日常的な場所が会場となっていることが良い
- 意外性・ハリエーションの多様性が良い

- ボランティアによる誘導が良い
- テーマに合った会場構成

# モビリティの課題はバスター

## 【課題点】

- 会場が多すぎて人目が足りない
- 会場構成が難しく手配の表示の意図が分かりづらい
- 自然の中の作品が少ない

- 会場が多すぎて回りきれない
- エリアが広すぎて回りきれない
- 作品がまとまっていない
- 会場のある地区に偏りがある
- 会場を探しにくい、会場情報が足りない

- 会場が多すぎて回りきれない
- 会場配置が分かりづらい、会場情報が足りない
- 日時が決まっていない
- 芸術祭で会場巡りをすべきかは疑問
- 会場の雰囲気が入りづらい

## バスター

モデルコース  
在野光バス  
ツアーコース  
バスター  
ツアーコース

作品の  
見どころ  
見どころ  
見どころ

ボランティアの  
陣中  
ツアー  
ツアー

ツアーごとに説明書きをつける  
作家が一人から展示場所を選ぶ  
子ども連れにも配慮した会場づくり

馬車場を  
バス(車)の  
バス(車)の  
バス(車)の

バス(学生)  
があまり少ない  
時期  
6月の末から  
秋にかけて  
モーターバス

ターゲット別  
にして  
・初心者向け  
・ハイパー  
コース  
バスガイド  
が解説  
印刷対象に  
有難う  
書き込み

馬車場を  
バス(車)の  
バス(車)の  
バス(車)の

日時具用は夏?  
バス(学生)  
があまり少ない  
時期  
6月の末から  
秋にかけて  
モーターバス

作家との  
交流  
交流会  
交流会  
交流会

馬車場を  
バス(車)の  
バス(車)の  
バス(車)の

日時具用は夏?  
バス(学生)  
があまり少ない  
時期  
6月の末から  
秋にかけて  
モーターバス

作家との  
交流  
交流会  
交流会  
交流会

馬車場を  
バス(車)の  
バス(車)の  
バス(車)の

日時具用は夏?  
バス(学生)  
があまり少ない  
時期  
6月の末から  
秋にかけて  
モーターバス

アイデアもあるよ!

3 グループ (1 会場構成の課題店を解決するアイデア) 模造紙



### 3 その他（こんなアイデアもあるよ！）

### わかりやすいデジタル表の作成

【良かった点】

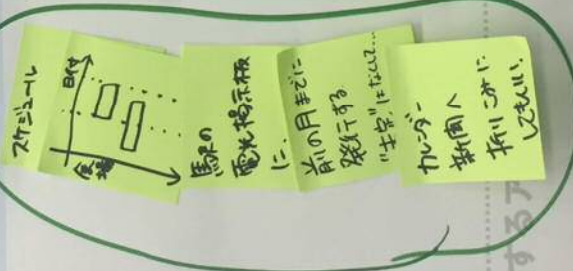
- SIAF通信が分かりやすい
- 大友さんの狙いが成果に出ている
- ポラシティアとして参加しやすい
- 公募企画が良かった。市民に広がるきっかけにもなった
- 歴史や市民に身近なテーマの展示企画が良かった
- 札幌の新たな発見や次に繋がる取組になった

【解決アイデア】

- 目玉となる作品の設置
- 地元のアートファクトの起用、コンペの実施
- 様々な年齢層に楽しんでもらえる作品の設置
- 会場周辺の作品ごとに説明書きをつける
- 創設都市札幌の表現に向けた取り組みとして市民への浸透を推進
- 次回開催までの市民に伝わる取組を
- 次回開催までに市民があるまる場を
- 関係者・市民向けの勉強会開催

- 500m美術館がアートに触れるきっかけになる
- 市民の評価が高かった

インフォは  
メインあった。



市民から訪れる  
「何だコレだ」  
と聞かされた。

「一歩目」  
「第二歩目」  
「第三歩目」

作品の公募  
ポラシティ  
制作は制作に  
手間は人が  
7911.

展示が  
おもしろい。  
様々でいい。  
「空っぽ」  
がポラシティ  
ならいい。

「空っぽ」  
がポラシティ  
ならいい。

アーティスト  
第三歩目  
ポラシティ  
開成、ポラ

#### 1 会場構成の課題点を解決するア

#### 2 来場

#### 3 組みあて

「イセゴト」  
「展示場」